

コガネシダ

Woodsia macrochlaena Mett. ex Kuhn
イワデングダ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

山地の岩石と岩石の間に生育する稀産種で、県内での確認地は1か所のみである。

分 布

本州～九州に稀に生育。県内分布は大野市。

種の特徴

夏緑性で葉柄は短く、葉身は2回羽状深裂、羽片の先端は円頭、胞子のう群は羽片の縁に付く。

生育を脅かす要因

岩石のすき間に生育する稀産種で、生活基盤が脆弱。

参考文献 渡辺定路 (2003)、岩槻邦男編 (1992)、倉田悟・中池敏夫編 (1979)、中池敏之 (1982)、福井県植物研究会 (2000)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

フクロシダ

Woodsia manchuriensis Hook.
イワデングダ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

山地の湿った岩石やそのすき間に生育する稀産種で、県内の確認地は4か所のみである。

分 布

全国分布は本州～九州。県内分布は大野市、勝山市。

種の特徴

夏緑性で、葉柄は葉身より短い。葉身は2回羽状深裂、羽片は下部ほどせまくなる。胞子のう群は羽片の縁に付き、包膜は球形で袋状になっている。

生育を脅かす要因

湿った岩石やそのすき間に生育する稀産種で、生育基盤が脆弱。

参考文献 渡辺定路 (2003)、岩槻邦男編 (1992)、倉田悟・中池敏夫編 (1985)、中池敏之 (1982)、福井県植物研究会 (2000)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○	○	

カナワラビ

Arachniodes rhomboidea (Wall. ex C.Presl) Ching
オシダ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地は限られ、個体数も減少している。東限に近い。

分 布

全国分布は本州（関東地方以西）、九州。県内分布は嶺北に3か所、嶺南に3か所。

種の特徴

常緑性のシダ類。根茎はややはい、葉柄下部とともに淡褐色～茶色で披針形。葉の高さは80cm前後、葉身は2回羽状、包膜は円腎形で胞子のうは小羽片の辺近くに付く。

生育を脅かす要因

森林伐採、採取圧、道路工事。

参考文献 岩槻邦男編 (1992)、中池敏之 (1992)、渡辺定路 (2003)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○			○						○				○		○